

U.S. Indicators

米国 景気減速に歯止めがかかりつつある(16年3月ISM非製造業・総合景気指数)

発表日：2016年4月5日(火)

～緩やかな持ち直しの動きを示唆～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

ISM非製造業景気指数

	総合指数	活動指数	新規受注	雇用	入荷遅延	受注残高	仕入価格	新規輸出受注	輸入	在庫変動
15/08	58.3	62.3	62.1	56.2	52.5	56.5	50.7	52.0	51.5	54.5
15/09	56.7	60.1	56.4	57.9	52.5	54.5	49.1	52.5	53.0	51.0
15/10	58.3	61.8	60.8	58.4	52.0	54.5	49.4	54.5	54.5	52.5
15/11	56.6	59.4	57.9	56.0	53.0	51.5	50.0	49.5	51.0	54.5
15/12	55.8	59.5	58.9	56.3	48.5	50.0	51.0	53.5	49.0	53.0
16/01	53.5	53.9	56.5	52.1	51.5	52.0	46.4	45.5	46.0	51.5
16/02	53.4	57.8	55.5	49.7	50.5	52.0	45.5	53.5	55.5	52.5
16/03	54.5	59.8	56.7	50.3	51.0	52.0	49.1	58.5	53.0	52.5

(出所) ISM

非製造業景気指数は 54.5と前月比1.1% ポイント上昇

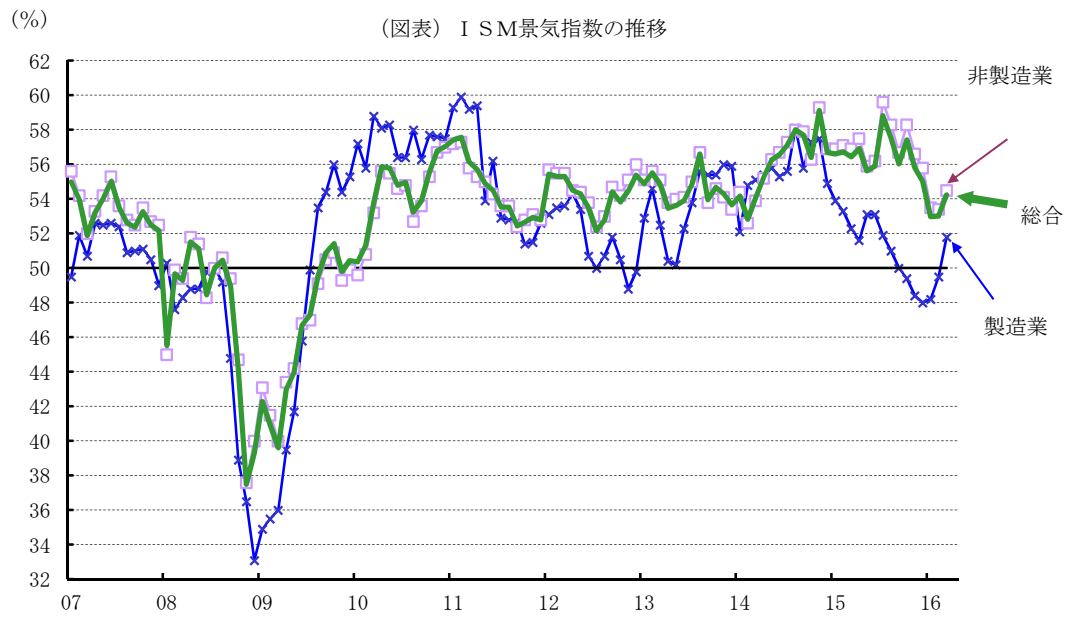
16年3月のISM非製造業景気指数(季節調整値)は、54.5と市場予想の54.2を上回った。前月比+1.1%ポイントと5ヵ月ぶりに前月から改善。指数の算出に使われる項目(活動指数、新規受注、雇用、入荷遅延)の全てが上昇した。構成項目別の寄与度では、活動指数(前月比+0.50%ポイント)、新規受注(前月比+0.30%ポイント)、雇用(前月比+0.15%ポイント)、入荷遅延(前月比+0.13%ポイント)と活動指数が最大の押し上げ要因となった。

3月のISM非製造業景気指数は、年末年始に鈍化傾向を辿っていた非製造業門が底打ちした可能性を示している。また、拡大した業種数は全18業種中12業種と2月の14業種よりも減少したが、広がりを持って改善した。金融・保険、情報産業などが堅調さを維持した。一方、縮小した業種は、ドル高や世界経済減速の影響を受けている芸術・娯楽・余暇、運輸・倉庫の2業種(2月3業種)にとどまった。

ISM総合景気指数は 54.2と景気減速に歯 止めがかかった可能性

米国経済全体の景気動向を示す「ISM総合景気指数(非製造業景気指数と製造業景気指数で合成)」は、3月に54.2と2月の53.0から1.2%ポイント上昇し、米国の景気減速に歯止めがかかった可能性があることを示唆している。ただし、四半期では16年1-3月平均で53.4と、15年10-12月期の56.1を下回っており、1-3月期の経済成長が鈍化したことを示している。今後、中国経済の減速が続いても、総合指数が内需に支えられ上昇を続けるとみられ、年央には米国経済の成長率加速による労働需給の一段の改善などファンダメンタルズ面で利上げの環境が整う公算が大きい。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



(出所) I S Mデータより当社加工

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。